



サシバ

日本にも生きものの楽園 ピオトープが登場した



みんなには特別に
荒川ピオトープを
見せてあげるよ

平成7年、ピオトープを
ととのえているとき ▶



日本でもピオトープを守り育てるころみが行われている。埼玉県内を流れる荒川の中流部の一区間と、そのまわりの水辺を生きものの楽園にしようとしている「荒川ピオトープ」がいい例だ。

このあたりは、もともとタカの仲間のサシバが子育てをしていたところだった。しかし、開発が進みピオトープがこわされるにつれ、サシバは姿を消してしまった。

そこで、再びサシバを呼びもどすことを目標に、残っていたピオトープを守ることにした。さらに、ムギ畑だったところに草や木を生やしたり、水辺に浅瀬をつくるなどして、このあたり全体にいろいろなタイプのピオトープをつくったんだ。



▲平成10年、さっそく生えてきたヤナギをはじめ、いろいろな植物が生いしげるピオトープになった。

こんな生きものがくらしているよ

ギンヤンマ

開けた水辺が好き。トンボの仲間のなかでも速く飛べるよ。



カワセミ

宝石のようにキレイな鳥。小魚を食べる。



キツネ

豊かな自然のなかで人の目につかないようにくらしている。



タコノアシ

タコの足みたいでしょ。湿った場所に生える。



オイカワ

春になると、オスは結こんするためにあざやかな色になるよ。

